



明治

明治メイバランスMiniカップ
ミルクテストシリーズ7品
「総合栄養食品」表示許可取得記念イベント

開催日/6月16日(木) 会場/青山グランドホール(オンラインあり) PR会社/マテリアル(担当責任者/平山夏帆) 広告会社/東急エージェンシー イベント会社/GAJET(同/小嶋紘克) PR費用/非公開 出席者/佐々木健介(タレント)、よるこ 濱口優・有野晋哉(お笑いタレント)、佐々木淳(悠翔会 理事長/診療部長)、大石昇吾(明治 グローバルニュートリション事業本部長)、長田剛(同 メディカルマーケティング部) 参加メディア数/43媒体 オンライン視聴/25件掲載・放映メディアの属性・数/テレビ:ニュース13番組、新聞:全国紙1紙・スポーツ紙4紙・地方紙6紙・専門紙6紙、通信社:1社、インターネットメディア:32媒体



BANDAI SPIRITS

「TAMASHII NATIONS STORE TOKYO」
リニューアルオープンセレモニー

開催日/6月22日(水) 会場/TAMASHII NATIONS STORE TOKYO PR会社/レターズ(担当責任者/大迫) 広告会社/ADKマーケティング・ソリューションズ(同/堀切) イベント会社/フラットベース(同/川上) PR費用/非公開 出席者/市川紗椰(モデル)、鈴木福、濱田龍臣(以上俳優)、保倉好之(JR東日本ステーションサービス 東京駅務管区 秋葉原駅長)、宇田川南欧(BANDAI SPIRITS 代表取締役社長) 参加メディア数/合計36媒体 掲載・放映メディアの属性・数/非公開



横浜八景島、W TOKYO

RYUGU FESTIVAL
supported by TOKYO GIRLS COLLECTION
記者発表

開催日/6月28日(火) 会場/マクセル アクアパーク品川 PR会社・広告会社・イベント会社/なし PR費用/非公開 出席者/藤田ニコル(タレント)、チョコレートプラネット 長田庄平・松尾駿(お笑いタレント) 参加メディア数/合計32媒体 掲載・放映メディアの属性・数/テレビ:報道・情報10番組、新聞:全国紙1紙・スポーツ紙5紙、通信社:1社、インターネットメディア:24媒体



日本ケロッグ

「ケロッグ毎日朝ごはんプロジェクト」
メディア発表会

開催日/6月29日(水) 会場/八王子市立由井第一小学校 PR会社/ブラップジャパン(担当責任者/小林拓) 広告会社・イベント会社/なし PR費用/非公開 出席者/ミルクボーイ 駒場孝・内海崇(お笑いタレント)、湯浅誠(全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長)、細川モモ(ラブレテ 代表理事)、トニー・ザ・タイガー(キャラクター)、井上ゆかり(日本ケロッグ 代表職務執行者社長)、山路真由(同 PRマネージャー) 参加メディア数/合計16媒体 掲載・放映メディアの属性・数/非公開



アクセンチュア

「Accenture Technology Vision 2022」
記者会見

開催日/7月5日(火) 会場/メタバース空間(オンラインのみ) PR会社/パーソン・コーン&ウルフ 広告会社/なし イベント会社/ビジネス・フォーラム事務局 PR費用/非公開 出席者/山根圭輔(アクセンチュア テクノロジーコンサルティング本部 インテリジェントソフトウェアエンジニアリングサービスグループ共同日本統括 マネジング・ディレクター) 参加メディア数/合計41媒体60人 掲載・放映メディアの属性・数/新聞:全国紙1紙・専門紙2紙、インターネットメディア:11媒体

情報窓口について

当コーナーにエントリーを希望される場合は、広報会議のウェブサイトから応募用紙をダウンロードの上、下記アドレスまでお送りください。記者発表・イベントのご案内などもメールにてお待ちしております。

応募用紙ダウンロード先
(広報会議ウェブサイト)

→ www.sendenkaigi.com/press/event

情報送付先

→ kouhou@sendenkaigi.co.jp

※お寄せいただいた情報はすべて掲載することはできません。あらかじめご了承ください。

Pick UP!

メタバース記者会見、その是非は?

アクセンチュアは7月5日、同社が毎年発表している次世代テクノロジーのトレンドレポート「Accenture Technology Vision 2022」を発表。2022年に設定したトレンドビジョン「メタバースで会いましょう」に合わせ、記者会見はメタバースアプリ「Cluster」上で開催した。

発表会前には、記者がアプリ動作を確認しシミュレーションできる機会を2日間設け、同社広報がメタバース上で対応。事前に不安点や疑問点を広報に質問できるようにしていた。

当日は、テクノロジー コンサルティング本部 インテリジェントソフトウェアエンジニアリングサービスグループ共同日本統括 マネジング・ディレクター 山根圭輔氏が登壇。企業がいま知っておくべき4つのテクノロジートレンドをプレゼンテーションした。山根氏自身もアバター化し、身振り手振りも現実とリンクした形で実施。

同社も、社内のディスカッションの場などではメタバース使用が進んでいたというが、メディアとのコミュニケーションで活用するのは、グローバル合わせて初めてという。今回の会見形式は、「その場にいることを感じられる」というリアルと変わらないコミュニケーションができるメリットがある一方で、山根氏は「プレゼン中に運



当日、アバター化して登壇したアクセンチュア・山根圭輔氏。

営の声もイヤホンから流れてくるため、フォロー体制はとられていたものの、情報量が多くしゃべりにくく感じた部分もあった」と使用感や気づきを語っていた。

プレゼン後に記者がリアクション(拍手やクラッカーなど)をするシーンも見受けられ、双方向性のある体験ができた。また、リアルでは席順などが指定されるが、今回はアバターを会場のスクリーンや登壇者が見やすい位置に自由に動かすことができるので、見やすさといった意味ではストレスが減ったように感じられた。当日は同様の内容をZoomでも配信。メタバース利用ができない、接続ができない際のフォロー策として機能した。

当日の登壇資料は、メタバース空間上にパネルで用意。近づきクリックするとダウンロード画面が現れ、資料やリリース、当日のスクリーンショットなどがダウンロードできる。



会見終了後は、南の島空間にワープし、登壇者との意見交換会を実施。